

第5回 実施レポート

公共建築の施工プロセスに触れられる現場見学会

実施日：令和7年3月1日（土）



■ 現場見学会 全5回

第1回 外構工事1

第2回 基礎工事

第3回 木造建て方工事

第4回 内外装工事

第5回 外構工事2・完成

「とよはし公共建築学生チャレンジコンペティション（令和4年度）」に全国から応募のあった114組の提案から選ばれたアイデア“風土の中のさんぽミチ”。つつじが丘保育園は、これをコンセプトとし、木の温もりにあふれ、四季の変化を感じられる、子どもたちの自発性を育む保育環境をカタチにするよう設計されました。令和6年1月に工事着手、この令和7年2月にしゅん工し、最後の現場見学会を開催しました。

第5回 ダイジェスト

つつじが丘保育園の設計のこだわりについて、設計者さんからお話頂きました。

この保育園は木造の真壁工法でつくられています。真壁工法は、柱や梁を見えるように仕上げる工法で、住宅など昔ながらの工法です。一見普通に見えるけれど、実はつくるのが難しく、現在はお寺などの特別な建物でしか見られなくなっています。どういう風に難しいかというと、例えば柱はまっすぐに建っているように見えますが、実際にはほんの少し歪みがあります。この柱と柱の間に壁仕上げのボードをぴったり納めるためには、ひとつひとつ採寸して切り出し、壁をつくる必要があります。手間も技術も必要で、それができる職人さんは減っています。



保育室の広さに合わせて柱と柱の間隔を大きくとるため、また間仕切りの多くが建具となっていて壁の位置が限られているため、耐力壁の位置を工夫し開放的な空間としています。小屋組みの高さや間隔も苦労したところです。



木造の軸組と小屋組みを見せる意匠のため、仕上がり時に隠れる金物を使用して固定する工夫をしています。

手洗いは角が丸いデザインですが、シンクだけでなく木製の台座部分もきれいなカーブで仕上げています。職人さんが考えてつくってくれて素晴らしい仕上がりになっています。こういうことも私の楽しみのひとつです。



(株)藤川原設計 大鹿さん
(設計・監理者)



名古屋工業大学
永井さん (提案者)

設計から工事監理にも継続して参加し、いろいろな立場の多くの人たちが同じ目標を掲げて工事に関わっている現場に立ち会い、とても勉強になりました。



これまで現場見学会にご参加いただきありがとうございました。
今後も豊橋市役所の建設事業にご理解とご協力を賜り、興味を持っていただければ幸いです。